



<http://www.rupinasu-inc.co.jp/>

★最新介護医療情報★

高齢世帯、45% 超が一人暮らしに 2040年の東京・大阪 (日経新聞社 H31.4.19[金] 配信)

2040年に向けて、都市と地方にかかわらず世帯の**単身化と高齢化が進む**。国立社会保障・人口問題研究所が19日発表した将来推計では、**40年には世帯主が65歳以上の「高齢世帯」のうち40%が一人暮らしとなる**。東京都で45%超となるのを筆頭に、すべての都道府県で30%を超える見込みだ。高齢者の生活を支えるしくみの再構築が欠かせない。

15年に**1841万**だった一人暮らしの世帯数は40年に1994万世帯まで増え、全体の39.3%になる見込み。高齢者の一人暮らしは15年の**625万世帯から896万世帯まで4割以上増える**。特に目立つのが都市部での**単身高齢者の増加**だ。東京都は一人暮らしの高齢者世帯が15年に79万世帯だったが、40年には116万世帯となる見込み。大家族で住む人が少なく、将来、単身になる可能性が高いためだ。高齢者世帯に占める一人暮らしの比率は45.8%と全国で最も高くなる。未婚の男女が増えているほか、2030年には「団塊の世代」が全員80歳以上になり配偶者と死別するケースも多くなる。みずほ総合研究所の岡田豊主任研究員は「人口急増期にベッドタウンとして発展した郊外に住む人も多い」とし、単身になる高齢者の生活を支える対策が必要と指摘する。秋田県は全世帯に占める高齢世帯の比率が40年に57%を超え、全国でもっとも高くなる。同県では上小阿仁村が「道の駅」を拠点にした小型電気自動車(EV)の自動運転の実験をするなど、高齢者が移動や買い物で不便にならないような対策を進めている。

認知症を患う高齢者の一人暮らしが増えていく可能性も高い。東京都は19年度に認知症対策に37億円を投じる計画だ。区や市町村が実施する認知症検診に補助金を交付したり、認知症患者や家族を支えるための拠点を増やしたりする。

傷ついた脳、幹細胞で再生 バイオベンチャー治験で確認 (朝日新聞社 H31.5.8[水] 配信)

バイオベンチャーのサンバイオ(本社・東京)は、**幹細胞を用いて、けがで傷ついた脳の神経組織の修復を図る再生医療の治験で、体を動かす機能の改善を確認したと明らかにした**。再生医療製品としての製造販売承認を目指し、来年1月までに厚生労働省に申請する予定だ。米国で4月にあった米国脳神経外科学会で発表した。健康な人から採取した骨髄液から、骨や血管などになる能力がある「間葉系幹細胞」を取り出して大量に培養、細胞薬として再生医療製品にする。これを患者の損傷部のそばに注射で移植する。幹細胞が脳内の神経細胞の再生を助け、運動機能の改善につながると、同社は説明する。治験は日米の慢性期の外傷性脳損傷の61人で実施。細胞を移植した46人と、移植しなかった15人を比較した。手足を動かすといった運動機能を評価する指標では、移植したグループは平均で8・7ポイント改善。移植していないグループも2・4ポイント改善したが、同社は「統計学的に有意な差が確認できた」とした。移植した全員に頭痛などが起きたが、90%以上は細胞薬と関連がなかったとみられることから、同社は、安全性の懸念は認められなかったとした。他人由来でも間葉系幹細胞は基本的に拒絶反応が起きないという。

地域ルピナス講習会のお知らせ

第34回 忠岡地域リハビリ勉強会 ⇒薬効の不安定なパーキンソン病の方への チーム連携での関わり

開催日：令和元年5月24日(金)
時間：午後6時30分～午後7時30分
場所：忠岡町文化会館 3階会議室
講師：ルピナス看護師 愛須史子



第64回 東大阪地域リハビリ勉強会 ⇒在宅における廃用症候群の予防について

開催日：令和元年6月20日(木)
時間：午後6時00分～午後7時00分
場所：東大阪市立東体育館 第三研修室
講師：ルピナス理学療法士 奥村伊世



第24回 城東地域リハビリ勉強会 ⇒在宅で関わる呼吸器疾患について

開催日：令和元年6月28日(金)
時間：午後6時30分～午後7時30分
場所：城東区民センター 中会議室
講師：ルピナス理学療法士 池田遼